

# 夏の 展示

平成29年7月11日(火) - 9月24日(日)

休館日 第2・4月曜日※祝日の場合は翌日火曜日※その他館内燻蒸作業等による臨時休館の場合有り  
開館時間 午前9時から午後5時まで  
入館料 大人500円 小中学生300円 幼児無料※20名以上の団体・JAF会員・障がい者割引有り  
会場 芦北町立星野富弘美術館 熊本県葦北郡芦北町大字湯浦1439-2 0966-86-1600

花の名前を知らない  
そのことが  
今朝はばかに嬉しい

花だってたぶん

自分に付け

られたる

名前を

知らないで笑っている



「花の名前」1986年

# 夏の展示

鮮やかな新緑の訪れから、梅雨が明けると、いよいよ本格的な夏を迎えます。しっかりと根をはった草花たちが衣替えをする季節です。

朝露に濡れる夏の風物詩あさがお、一粒一粒に強い生命力を感じさせるぶどう、田んぼ道には子どもたちの遊び相手ねこじゃらしがゆらゆらと風に揺れています。

星野富弘の詩画作品にも、巡り来る季節の草花が描かれています。添えられた詩は、私たちのところにやさしく寄り添ってくれます。

本展では、夏の草花を題材とした作品を中心に展示します。

夏の訪れを感じる作品をどうぞご覧ください。



「桃」1989年



「百日草」1990年



「あさがお」1980年



## 星野 富弘(ほしの とみひろ)

1946年群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)生まれ。群馬大学卒業後、中学校の体育教諭になるも、クラブ活動(器械体操)の指導中、模範演技で空中回転したとき誤って頭部より転落。頸髄を損傷。首から下の自由を失う。入院中、口に筆をくわえて文や絵を描きはじめる。前橋で最初の作品展を開く。退院後、雑誌や新聞に詩画作品やエッセイの連載を始める。1982年高崎で初の「花の詩画展」を開催以降、全国各地、また海外でも開催され、現在も続いている。1991年群馬県勢多郡東村に村立富弘美術館(現みどり市立「富弘美術館」)開館。現在も詩画やエッセイの創作活動を継続中。

### ○星野富弘美術館へのアクセス

#### 【熊本方面から】

お車の場合：南九州西回り自動車道芦北ICから県道27号線經由国道3号線で芦北町湯浦へ。湯町交差点を右折し約1分。  
熊本市から約1時間30分。

電車の場合：肥薩おれんじ鉄道佐敷駅下車後、タクシーで約10分。もしくは、湯浦駅下車後、徒歩で約20分。熊本駅から約1時間50分。

#### 【鹿児島方面から】

お車の場合：国道328号線及び国道3号線で芦北町湯浦へ。湯町交差点を左折し約1分。  
鹿児島市から約2時間30分。

電車の場合：肥薩おれんじ鉄道湯浦駅下車後、徒歩で約20分。  
鹿児島中央駅から約3時間。

